

## 図書館だより SAKUらいぶ

作新学院大学 作新学院大学女子短期大学部 図書館

平成 30 年 お正月号

- ・心の片隅にしまっておきたいもの
- ・図書館イベント報告
- ・あなたのページ
- ・らいぶ Question
- ・開館カレンダー

## 心の片隅にしまっておきたいもの

作新学院大学・短大事務局長 饗庭悦夫



「さすらいの青春」…50年前に観たフランス映画の邦題です。若者の友情と苦悩、恋愛と悲しい運命を描いた作品です。この映画が忘れられず今でも記憶の片隅に残っています。原作は、フランスの作家アラン・フルニエが残した唯一の小説「ル・グラン・モーヌ（モーヌの大將）」（Le Grand Meaulnes、1913年発行）です。アラン・フルニエは第一次世界大戦に出征し、消息不明になっています。27歳の若さでした。フランスではファンクラブもあるほど、青春小説の作家として有名です。

映画は、フランスの片田舎の寄宿学校に転校生がくるところから始まります。この青年が、ある日馬車で出かけ森の中で彷徨い、見知らぬ館にたどり着くと、主の息子の婚約披露宴が開かれていました。青年は、息子の姉であるヒロインと出会い、恋に落ちます。

余談ですが、このヒロイン役が、ルネ・クレマン監督のフランス映画「禁じられた遊び」（1952年）で、戦争孤児ポーレット役を当時5歳で演じたブリジット・フォッセーです。「禁じられた遊び」のラストシーンは涙なくして観られません。「さすらいの青春」では、ブリジット・フォッセーが美しく成長し本格的に女優として復帰したと公開当時話題になりました。

ではなぜ、この映画「さすらいの青春」がいつまでも心に残っているかと申しますと、館の場面で夢とも現ともつかない幻想的なシーンがあるからです。このようなシーンは今まで観たことが無く衝撃的でした。さらにフランスの田舎の美しい風景や凝った衣装、赤い夕焼けのような背景の中で、モノローグで語られるラストシーンなどが忘れがたい印象として記憶に残っています。

…次ページへ…

当時は、時代設定もわからず、ストーリーも捉えにくく、なんとも不思議な印象を抱きながら映画館を後にしたのを覚えています。

翻訳本はいくつか出版されていますが、お勧めはみすず書房の大人の本棚「グラン・モーヌ～ある青年の愛と冒険～」(長谷川四郎訳、2005年発行)です。巻末に作家の森まゆみさんが、小説の舞台となったフランスのシェール県エピヌイユール＝フルーリエル村を訪ねた解説がついています。映画は昨年12月に初DVD化されました。

学生の皆さんは、いつまでも心に残る映画や小説に出会っていますか。図書館に行けば見つかるかもしれませんよ。

## 図書館イベントへのご参加ありがとうございました

本年度は4タイプ5回の図書館イベントを催しました。参加いただいた皆様ありがとうございました。今後の参考にいたしますので、ご意見などございましたらお聞かせください。



<6・7月> 図書館の裏側お見せします



<10月> Wordでレポートや論文を書く



<11月> 作新祭  
チャリティー古本市



<12月> 手作りカードをつくろう



# あなたのページ

学生からの投稿です



## 私のキャンパスライフ

経営学部 3年 きょう たくくん 姜 卓君

作新学院大学は、とても美しい環境にあります。

校門をくぐると大きな桜の木があり、毎年新入生を祝福するかのよう  
に咲き誇ります。グラウンドも緑が豊かで、走ると気分爽快です。秋には落  
ち葉のキャンパスを歩くと池に夕日が輝いて綺麗です。

作新学院大学は、学外活動が活発です。

私は今までに、お台場や日光東照宮や鬼怒川温泉へ行きました。稲刈り  
をしたり、竹を切ったり、アイスクリームを作ったりしました。

年に一度の作新祭も楽しみです。コンサートや演芸やダンスの発表があ  
ります。いろいろな模擬店が出店されます。ベトナム料理などは美味しく  
て、特色があると思います。

私はこんな素敵な作新学院大学で、たくさん勉強をしています。

資格取得のためのさまざまな講義があるので、簿記に興味のあった私は、  
一年間勉強し、日商簿記2級を取ることができました。今は物流のゼミに  
入り、ロジスティック・オペレーションの資格を取ろうと思います。ITパ  
スポート試験にも来年チャレンジします。

私は、日本に来て、作新学院大学で学んで本当によかったと思っています。  
残り少ないキャンパスライフを悔いのないように過ごそうと思います。





# らいぶ Question

## 新年の挨拶

大江健三郎 著 081/Iw/B23 より

これは昨年のもじりのこと、見知らぬ人から電話がかかってきた。たまたま僕が( ① )をとりあげると、松山のアクセントの感じられる( ② )の男の音が、新聞で僕の実兄の歌を読んだ、そこでかねてから( ③ )たかったことを思い出して、と言う。

図書館にある資料から出題します。答えはカウンターにある解答用紙に記入してください。  
全問正解で1ポイントです。今年度中に5ポイント集めた方には、記念品を贈呈します。

## 開館カレンダー 2018年

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

3月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



午前9:00～午後4:00



午前9:00～午後5:00



休館日

~~~~~ 発行・編集 ~~~~~  
作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館  
Tel 028-670-3651・3652  
Fax 028-670-3619  
E-mail [tosyo@sakushin-u.ac.jp](mailto:tosyo@sakushin-u.ac.jp)  
URL <http://www.sakushin-u.ac.jp/library/>

